



〈発行〉

坂総合病院
医学生と共に歩む委員会

連絡先・塩釜市錦町16-5

☎022-367-9007

2013年12月1日

No. 64



地域

プライマリケア研修

医師として歩き出せた研修



3年目医師 千葉 茂樹

医学生の皆さん、こんにちは。宮城厚生協会3年目医師の千葉茂樹です。2011年東北大学卒業で、9月まで仙台市の長町病院で「地域プライマリケア研修」をしていました。現在はみやぎ県南医療生協のしばた協同クリニックで研修しています。今回は長町病院での研修についてお話ししたいと思います。

仙台市の長町地域は、現在は「あすと長町」という副都心の建設が進んでいますが、これまで「仙台市の下町」と言われてきました。実際、労働者なども多く、生活保護など受給している低所得層も多く暮らしています。そんな長町に

ある長町病院は、現在はリハビリを中心に行う回復期の患者さんを多く抱えています。同時に生活習慣病など慢性疾患の管理も行っています。私と同期のK先生は、その長町病院で外来の慢性疾患管理を行いながら、内科急性期疾患で入院した患者さんの診療も行っていました。

患者さんや家族に寄り添って

長町病院での地域プライマリ研修は終わってしまいましたが、その中で強く感じたことは、地域柄困難な生活背景を持つ方が多く、患者さんが超高齢だったり、家族の介護力がなかった

り、お金もないような方が本当に望む医療を行うのは、大変難しいということです。2年間の初期研修を終え、ある程度疾患に対する基本的な治療法は勉強できましたが、そのような困難な背景を持つ患者さんには一定の正しい解答は存在しません。医学的に正しいと思われる判断も、患者さんの背景によってはそれを行うことが却って良くない不幸な結果を生むこともあります。詳しい症例などは今回は述べませんが、その中で最も大切と感じたことは、患者さん、そしてその家族に寄り添い、粘り強く希望を伺い、相談し、生活背景も含めた適切な方針を導き出すことです。一般的なガイドラインなどには当てはまらず、手間がかかったり、面倒で大変と感じることもあります。いかに患者・家族との良好な関係を築けるかが大事か、身に染みて理解できました。

チーム医療の大切さ

また、そのような症例を医師一人でマネジメントすることは不可能で、看護師や療法士、また医療相談員の方などと相談し、チーム医療で対応することの大切さも実感できました。病気だけ診ていればいい、という考えはこの超高齢

社会の日本では通用せず、そんな中で医師一人の力は小さいですが、温かいスタッフの皆さんに助けられ、困難な症例でも何とか多くの患者さんの望む医療ができたと思っています。長町病院は120床程度の小さな病院で、大学病院のような先進的な医療はできません。しかし、患者さんの視線に立ち、患者さんと共に医療を行っている病院でした。研修医という立場から、本当の意味で医師として歩き出せた研修だった、そんな風に思っています。同期のK先生とも励まし合いながら、愉しく充実した半年間の研修を送れました。



長町病院は、先の東日本大震災により外来棟は使用不可能になり、現在新病院建設中です。新しい病院ができた後、もちろんできる前にも、ぜひ一度見学にいらしてください！

改めてやりがいを 感じた研修



3年目医師 児玉 貴之

医師3年目の児玉貴之です。今回は3年目に行う地域プライマリケア研修の古川民主病院での研修についてお話ししたいと思います。

だいたい週間スケジュールは、月曜日はエコー研修、外来、火曜日は外来、水曜日は外来、往診、木曜日は病棟、救急当番、医局会議、内科カンファ、金曜日は外来、救急当番、土曜日は外来です。限られた時間、医療資源の中での

定期外来のフォローと臨時受診の対応、特に生活習慣病(糖尿病、高血圧、脂質異常症など)管理が中心です。生活背景の重要性や、患者教育の難しさを実感したり、医学的に望ましいことと目の前の患者さんに適切なことのギャップに悩んだりもします。自分自身で診断まで至った時や指名された時などはやりがいを感ずります。検診の診察や、禁煙外来への誘導も行います。

普通の会話で発見

入院患者さんは疾患は限定されますが、入院から退院後まで全てを対応します。経済的だったり、介護力が乏しかったり、退院先に苦慮することが多いです。

在宅患者さんは普段の生活をみさせてもらいながら診察をし、時には会話から意外な事実を発見したり、おいしいものをいただけたりします。入院時は担当したり、継続した診療で信頼関係も築けます。当直は月に4-5回、大崎地区は当番制をとっていて、当番(輪番)日は1、2次内科、外科(皮膚科、眼科、整形外科)を



日曜日は17:00~8:30まで(平日は17:00~21:00)担当します。研修医は輪番を1-2回と普通当直を3-4回担当し、外来と救急車を診ます。輪番日以外はかかりつけの方で直接来院者と救急要請時以外は輪番病院にいてもらうため、

当直は忙しくありません。基本的に病棟は安定していますが、時々急変対応を求められます。

夜間、休日についてですが、当直、拘束以外はフリーで、拘束は主に在宅患者様のおみとりの時が対象になりますので、基本的に呼ばれません。休日は月に1-2回の土日連休があり、自分の時間をもつことができます。リフレッシュ休暇は他の先生と重ならなければ希望通りに取れます。個人の希望を尊重した研修もできます(例えば:エコー、心電図の検査をマスターしたい。学会、勉強会、結婚式に出席するので連休下さいなど)。

院内に歯科もあり、研修医によっては歯医者に通院する人もいます。スタッフの方が全員温かく、地域の病院との連携がとれており、紹介が多いのでプレゼンテーションを実践で学べます。患者さんも温厚で我慢強い人が多い印象で『民主病院じゃないと』と頼ってきてくれる人が多いです。夜中に不定愁訴で連日くる不思議な患者様はまずいません。古川はのどかで通勤途中の田園風景に日々癒され、鳴子温泉にも近く、先輩医師、同期と泊りに行ったこともありました。

大病院や都会では経験できない研修ですので、興味のある方は見学に来てください。

全国医学生のつどい

『エンドオブライフケアと民医連医療』

8月5日~7日の3日間、第34回「民医連の医療と研修を考える医学生のつどい(以下「つどい」)」が愛知県豊橋市で行われました。全国各地の奨学生が中心となり、病院実習などで繋がった医学生に、助言者が加わり総勢363名の参加者が集い、学習や交流を行って来ました。宮城からは奨学生3名が参加しました。

この医学生最大のイベントは医学生自身が実

行委員会をつくり、毎月のように事務局会議と実行委員会を開き、テーマや企画を練り上げてきました。今回のテーマは「終末期医療」で、初日は講演会、2日目は午前分科会(スピリチュアルケア、患者さんとのコミュニケーション講座、終末期ケア看護の実践、介護職の実践と課題、在宅やALSにおける看取り、MSWからの事例報告、延命治療と医療倫理、終末期医療と

社会保障、医学生の学んだ終末期医療など)と、午後は症例を基にケースカンファレンス、3日目はまとめ企画と閉会式という流れで密度の濃い内容で、掻い摘んで紹介します。



初日の講演は川崎協同病院外科の和田浄史医師から「患者に寄りそうこと～エンドオブライフケアと民医連の医療～」と題してお話があり、はじめに先生がこれまで関わった終末期の患者さんの事例が紹介され、石川民医連の城北病院「笑って死ぬる病院」同様に、患者さんに寄り

添う川崎協同病院職員の対応に胸を打たれました。途中参加者のディスカッションを交えながら、終末期の医療をする上での大切なキーワードである「タブーを作らないこと」「タイミングを逃さないこと」「倫理的ジレンマに気付くこと」を学びました。先生が考える終末期医療の答えとして、患者さんそれぞれの終末期医療は、必ずベッドサイドにあると話し、どんなに困難な問題と思っても常に患者の思いに寄り添い対応している姿に感銘を受けて来ました。

学生の感想として「疲れたけど勉強になった」「患者の思いに寄り添う民医連の姿勢がわかった気がする」「今回参加した学生と共に、各県連に持ち帰って今回参加できなかった学生にも伝えたい」など出されていました。

職場紹介④ 「クリニック診療サービス課」

丁寧な対応を心がけて

クリニック診療サービス課は職員18名、パート職員16名の合計34人と人数が多い職場です。診療サービス課というと聞きなれないかもしれませんが、他の病院で言うところの医事課のことです。

業務は主に窓口業務と後方業務に分けられます。窓口業務では受付や会計、診療・検査予約など幅広く業務を行っています。多くの患者様にとって病院に来て始めて接するのが窓口の診療サービス課職員ということになります。窓口は混雑していますが、病院の代表であるという意識を持って丁寧に対応し、気持ちよく診察を受けていただくよう心がけています。予約コールセンターにも診療サービス課の職員5名が配置されています。少数精鋭で毎日多くの予約電話に対応しています。

後方業務は診療報酬の請求、自賠責・労災業

務、公費手続き、各診療委員会の運営などを行っています。仕事の様子は見えづらかもしれませんが、外来診療、病院運営にとって大切な業務になります。



職員は22歳から50代までと年齢層が広いのも特徴です。私は配属されてから1年半になりますが先輩方は優しく、時には厳しく指導して下さいます。各業務を互いにカバーし協力するという雰囲気があり、とてもチームワークの良い職場でもあります。

病院にお越しの際は、気軽に窓口の職員にお声がけください。